

2009 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日の間に 当科において幽門側胃切除後の脾体尾部切除術を 受けられた方およびご家族の方へ

「幽門側胃切除後の尾側脾切除の安全性に関する検討 - 多施設共同研究 - 」

へのご協力をお願い

1. 研究の概要

幽門側胃切除の既往のある方で、脾体尾部切除術が必要になる場合があります。その際、脾切除に伴って残胃の血流が低下するため、残胃炎や残胃潰瘍、胃内容停滞、胃穿孔などの術後合併症を生じることが知られています。このような術後合併症の発症に影響を及ぼす原因を明らかにすることができれば、より質の高い安全な脾切除、ならびに術前・術後の対応策を講じることができます。本研究で、脾体尾部切除術が残胃に虚血をもたらす要因を明らかにし、今後のより安全な周術期管理および外科療法の改善に役立てたいと考えています。

この研究は島根大学医学部消化器・総合外科学講座が主体となり、全国の日本脾切研究会参加施設と共同で研究を行います。

また、この研究については、研究の代表実施施設である島根大学医学部医の倫理委員会および日本脾切研究会の審議にもとづく承認を得ています。

2. 研究の方法

1) 研究の対象者

2009 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院にて幽門側胃切除後の脾体尾部切除術を受けられた方を対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会了承日～2025 年 12 月 31 日

3) 研究方法

対象となる患者さんの診療情報を直接個人が特定できないように匿名化した上で、データとしてファイルに入力します。

4) 使用する情報の種類

電子カルテおよび病院保管資料から血液生化学検査（血算、栄養状態、肝機能、脾機能、腎機能、腫瘍マーカー）や画像所見（超音波、CT、MRI、内視鏡検査）、臨床経過（症状、現病歴、既往歴、手術術式、合併症の種類、胃虚血の有無、再発の有無と期間、生死の有無と期間）のデータを抽出します。

3. 外部への情報の提供

患者さんの氏名、生年月日などあなたを直ちに特定できる情報は削除し、個人が特定できない状態にした上で、島根大学医学部消化器・総合外科学講座へデータを郵送いたします。

患者さんを匿名化した対応表は、本院の個人情報管理者が保管・管理します。

4. 除外の申出・お問い合わせ

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には、代表施設に情報提供をいたしませんので、2021 年 5 月 31 日までに下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

< 当院の問い合わせ・連絡先 >

川崎医科大学附属病院 消化器外科

氏名：岡田 敏正

電話：086-462-1111 内線 26503（平日：8 時 30 分～17 時 00 分）

ファックス：086-464-1037

< 研究代表施設の問い合わせ・連絡先 >

研究責任者：島根大学医学部 消化器・総合外科学講座 田島義証

研究事務局担当者：島根大学医学部 消化器・総合外科学講座 川畑康成

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話：0853-20-2232

ファックス：0853-20-2229